

・医療的ケア児支援について

・幼保小の架け橋プログラムについて

・入札制度について



新風新政会
うさみ まこと
宇佐美 誠



詳しい内容は
こちら

1点目は、医療的ケア児支援についてです。令和3年に施行された医療的ケア児支援法に基づき、自治体には支援施策実施の責務があるとされており、本市の現状や取り組み状況と、安中市障害児福祉計画やこども計画に基づく今後の対応について質問しました。

2点目は、幼保小の架け橋プログラムです。就学前後のこどもの学びにおける切れ目のない支援を目的にしたプログラムで、学校環境に適應できない「小1プロブレム」やこどもの登校時間と保護者の出勤時間の差による「朝の小1の壁」について、市の現状と課題を質問しました。さらに、今後の取り組み状況なども質問しました。

3点目は、本市の入札制度についてです。

過日、県内他市で事前に公表していない最低制限価格を漏えいするという官製談合事件が起きました。あつてはならないことであり、適正な入札執行が求められています。本市では、最低制限価格は事後公表としており、予定価格は事前公表しているという状況です。そこで、それぞれの制度について質問しました。また、市内経済への循環という点で、共同企業体制度についても概要を質問しました。

・結婚支援について

・育児支援の充実について

・小1の壁[※]について

6月4日、厚生労働省は、2024年に生まれた子どもの数が前の年より4万人以上少ない68万6061人であったことを公表しましたが、少子化が想定をはるかに上回るペースで進んでいます。こうした、少子化に歯止めがかからない状況に対し地域においても実情や課題に応じた、更なる取り組みが重要です。中でも、出会いから結婚、出産、子育てと、支援の充実を図ることは、大変重要と思います。

婚活支援対策については、相談支援体制や婚活イベントについて質問しました。

育児支援の充実を図るため外出時に安心して授乳できる環境づくりに

ついて質問しました。

保育所に比べて、子どもを預けられる時間が短くなることで生じる問題「小1の壁」では、子どもの朝の居場所づくりについて、本市における子どもの登校状況やニーズの把握と今後の取り組みについて質問しました。



あんなかスマイルパークの授乳室



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

※小1の壁とは…保育所に比べて子どもを預けられる時間が短くなることで生じる問題で、これまでは放課後の子どもの居場所問題が注目されてきたが、昨今では登校前の子どもの朝の居場所問題があげられている。